

令和2年7月豪雨災害における被災地支援



7月豪雨災害を受けて、被害の大きかった熊本県南地域の自治体に草村町長が訪問され、義援金を贈呈されました。



天草市 中村市長 (右)



芦北町 竹崎町長 (左)



人吉市 松岡市長 (右)



(左) 南阿蘇鉄道の津留専務  
(中央) 草村大成社長 (町長)  
(右) くま川鉄道の永江友二社長

今回の豪雨でくま川鉄道も甚大な被害を受け、南阿蘇鉄道株式会社からくま川鉄道株式会社へ義援金が贈られました。



あさぎり町 加藤副町長 (左)



球磨村 山口総務課長 (中央)  
田村地域・文化振興局長 (右)



当町と横軸連携協定を締結している天草市(牛深地区)が250戸を超える被害を受けました。

平成28年熊本地震時、市民の方々から多くの支援をいただきました。今回は町職員から支援チームを派遣し、感染症対策を徹底しながら、民家の床下の泥出しやゴミ出し作業の支援を行いました。

また、同じく甚大な被害を受けた芦北町にも職員を派遣し、災害ゴミ処理や道路誘導などを行いました。

今後も継続して、被災地への支援を行います。



美しい村を探す  
~九州・沖縄~

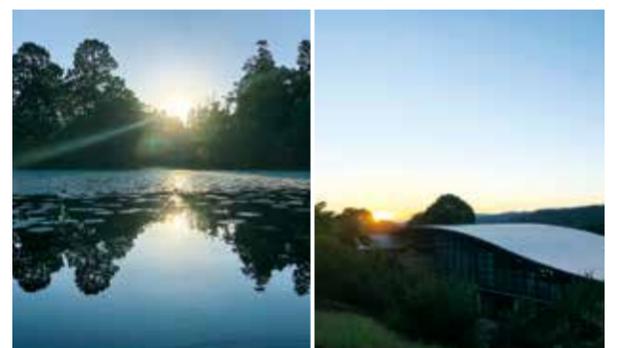
Explore beautiful villages in the southern part of Japan



星野村  
(福岡県八女市)

人口：2,336人 (令和2年8月1日現在)

八女市役所地星野支所まちづくり推進係  
☎0943-52-3112



福岡県の南東部に位置し、東は大分県日田市と接する山間の村「星野村」。基幹産業は農林業、特に茶と花木の生産が盛んで、夜には満天の星空がひろがる静かな村です。また、天保年間に刻まれた碑が残る石積みの棚田や、南北朝時代懐良親王ゆかりの大円寺、江戸時代久留米藩の御用窯として多くの茶壺、茶器を残した星野焼など、歴史ロマンの息吹を感じられる地でもあります。

地域資源1 星野茶

星野ブランドのナンバーワンは、高級茶「玉露」に知られる「星野茶」です。茶の生産は、江戸時代後期に八女地区山間地で始まったといわれていますが、明治後期の「玉露」栽培から星野茶の名声が高まってきました。星野村の風土と気候、そして先人たちが引き継がれた栽培製法技術が、甘みと香り豊かなお茶を育て、今でも高級茶ブランド「星野茶」を守り続けています。その品質は、全国茶品評会においても認められ、これまで多数の農林水産大臣賞(全国1位)を獲得しています。平成17年からは5年連続、直近の5年間で

も3回の受賞(平成29年・30年・令和元年)と日本一の玉露産地としての地位を確立しています。

地域資源2 石積みの棚田

急峻な地形のなか、星野川やその支流沿いに石積みの棚田と茶畑が広がる風景が、星野村独特の農村風景です。棚田形成の起源は定かではありませんが、谷川の水を分け合い、湧水を活かした棚田は、耕地の少ない星野村において、より生産性を高め暮らしよい村をつくるため、多くの年月と数え切れないほどの先人たちの苦勞の積み重ねにより、築き上げられたものです。なかでも、広内・上原地区では「棚田保存実行委員会」を組織し、田植え体験や稲刈り体験などの交流事業を行い、棚田の景観のすばらしさや公益的機能等を都会の人たちにも理解してもらうと、地域ぐるみで保全活動に取り組んでいます。

イベント情報

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、令和2年度のイベントは開催しません。